

**2021年度**

( 自 2021年4月 1日  
至 2022年3月31日 )

**収支決算書**

公益財団法人ユニジャパン

# 貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金 預 金	40,872,669	160,605,267	△ 119,732,598
未 収 金	183,558,961	126,080,549	57,478,412
前 払 金	2,393,776	6,199,153	△ 3,805,377
立 替 金	1,734,130	979,904	754,226
流動資産合計	228,559,536	293,864,873	△ 65,305,337
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	5,602,717	5,188,287	414,430
映画祭事業積立資産	0	95,000,000	△ 95,000,000
特定資産合計	5,602,717	100,188,287	△ 94,585,570
(2) その他固定資産			
什 器 備 品	9,500,717	7,999,836	1,500,881
電 話 加 入 権	180,200	180,200	0
ソ フ ト ウ ェ ア	5,425,110	5,995,170	△ 570,060
リ ー ス 資 産	2,471,546	3,252,033	△ 780,487
敷 金	17,953,320	17,953,320	0
保 証 金	10,000	10,000	0
その他固定資産合計	35,540,893	35,390,559	150,334
固定資産合計	41,143,610	135,578,846	△ 94,435,236
資産合計	269,703,146	429,443,719	△ 159,740,573
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未 払 金	18,365,447	40,959,093	△ 22,593,646
預 り 金	2,223,348	1,967,123	256,225
短 期 借 入 金	0	170,000,000	△ 170,000,000
リ ー ス 債 務	782,013	769,295	12,718
流動負債合計	21,370,808	213,695,511	△ 192,324,703
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,602,717	5,188,287	414,430
長 期 未 払 金	920,376	1,329,432	△ 409,056
リ ー ス 債 務	1,783,142	2,571,488	△ 788,346
固定負債合計	8,306,235	9,089,207	△ 782,972
負債合計	29,677,043	222,784,718	△ 193,107,675
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	240,026,103	206,659,001	33,367,102
(うち 特定資産への充当額)	0	(95,000,000)	95,000,000
正味財産合計	240,026,103	206,659,001	33,367,102
負債及び正味財産合計	269,703,146	429,443,719	△ 159,740,573

## 貸借対照表内訳表

2022年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計 (管理費)	内部取引消去	合 計
<b>I 資産の部</b>				
1. 流動資産				
現金預金	38,011,582	2,861,087		40,872,669
未収金	183,024,219	534,742		183,558,961
前払金	0	2,393,776		2,393,776
立替金	0	1,734,130		1,734,130
公益目的事業勘定	0	133,339,163	△ 133,339,163	0
法人会計勘定	144,750,000	0	△ 144,750,000	0
流動資産合計	365,785,801	140,862,898	△ 278,089,163	228,559,536
2. 固定資産				
(1) 特定資産				
退職給付引当資産	5,602,717	0		5,602,717
特定資産合計	5,602,717	0		5,602,717
(2) その他固定資産				
什器備品	8,835,667	665,050		9,500,717
電話加入権	167,586	12,614		180,200
ソフトウェア	5,425,110	0		5,425,110
リース資産	2,298,538	173,008		2,471,546
敷金	16,696,588	1,256,732		17,953,320
保証金	0	10,000		10,000
その他固定資産合計	33,423,489	2,117,404		35,540,893
固定資産合計	39,026,206	2,117,404		41,143,610
資産合計	404,812,007	142,980,302	△ 278,089,163	269,703,146
<b>II 負債の部</b>				
1. 流動負債				
未払金	12,462,641	5,902,806		18,365,447
預り金	2,046,701	176,647		2,223,348
リース債務	727,272	54,741		782,013
法人会計勘定	278,089,163	0	△ 278,089,163	0
流動負債合計	293,325,777	6,134,194	△ 278,089,163	21,370,808
2. 固定負債				
退職給付引当金	5,602,717	0		5,602,717
長期未払金	855,950	64,426		920,376
リース債務	1,658,322	124,820		1,783,142
固定負債合計	8,116,989	189,246		8,306,235
負債合計	301,442,766	6,323,440	△ 278,089,163	29,677,043
<b>III 正味財産の部</b>				
1. 指定正味財産	0	0		0
指定正味財産合計	0	0		0
2. 一般正味財産	103,369,241	136,656,862		240,026,103
(うち 特定資産への充当額)	0	0		0
一般正味財産合計	103,369,241	136,656,862		240,026,103
正味財産合計	103,369,241	136,656,862		240,026,103
負債及び正味財産合計	404,812,007	142,980,302	△ 278,089,163	269,703,146

# 正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	70,000,000	77,000,000	△ 7,000,000
賛助会員受取会費	70,000,000	77,000,000	△ 7,000,000
② 事業収益	715,920,305	705,297,322	10,622,983
(a) 業務受託料収益	497,217,697	558,371,424	△ 61,153,727
経済産業省	409,811,656	436,753,425	△ 26,941,769
文化庁	87,406,041	121,617,999	△ 34,211,958
(b) 入場料収益	30,154,630	45,076,340	△ 14,921,710
(c) 企画スポンサー収益	130,450,000	56,100,000	74,350,000
(d) その他の収益	58,097,978	45,749,558	12,348,420
③ 受取補助金等	329,295,928	287,238,704	42,057,224
(a) 受取国庫補助金	83,810,000	85,932,000	△ 2,122,000
経済産業省	13,810,000	15,932,000	△ 2,122,000
文化庁	70,000,000	70,000,000	0
(b) 受取分担金	245,485,928	201,306,704	44,179,224
東京都	140,000,000	121,959,000	18,041,000
国際交流基金	105,485,928	79,347,704	26,138,224
④ 受取寄付金	58,500,000	98,257,000	△ 39,757,000
⑤ 雑収益	1,106,966	1,466,271	△ 359,305
(a) 受取利息	2,360	2,613	△ 253
(b) 雑収益	1,104,606	1,463,658	△ 359,052
経常収益計	1,174,823,199	1,169,259,297	5,563,902

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 經常費用			
① 事業費	1,118,218,870	1,121,111,946	△ 2,893,076
役員報酬	13,500,000	17,499,996	△ 3,999,996
給与手当	36,079,620	33,693,396	2,386,224
退職給付費用	414,430	513,430	△ 99,000
法定福利費	6,294,233	5,876,389	417,844
福利厚生費	418,348	409,077	9,271
会費	11,971,990	8,889,203	3,082,787
渉外費	147,499	0	147,499
旅費交通費	29,331,445	11,882,085	17,449,360
通信運搬費	7,622,742	6,954,540	668,202
減価償却費	4,697,471	4,574,906	122,565
消耗什器備品費	61,374	0	61,374
消耗品費	3,030,981	7,267,471	△ 4,236,490
図書新聞費	640,657	564,222	76,435
印刷製本費	19,017,147	22,661,576	△ 3,644,429
光熱水料費	1,992,211	1,825,594	166,617
賃借料	113,130,143	89,561,803	23,568,340
保険料	992,117	1,208,770	△ 216,653
謝礼金	4,712,224	3,447,429	1,264,795
租税公課	1,231,697	2,661,083	△ 1,429,386
委託費	833,579,497	884,164,187	△ 50,584,690
支合金	12,003,832	9,011,827	2,992,005
賞支金	8,085,230	1,039,400	7,045,830
支払利息	136,767	404,977	△ 268,210
諸手数料費	4,149,075	4,826,163	△ 677,088
雜費	4,978,140	2,174,422	2,803,718
② 管理費	23,237,227	25,593,852	△ 2,356,625
給与手当	7,195,980	7,195,980	0
法定福利費	1,179,258	1,177,298	1,960
福利厚生費	116,488	132,071	△ 15,583
会費	0	7,252	△ 7,252
旅費交通費	220,690	247,416	△ 26,726
通信運搬費	163,364	180,922	△ 17,558
減価償却費	150,870	182,100	△ 31,230
消耗什器備品費	4,620	0	4,620
消耗品費	119,336	127,546	△ 8,210
図書新聞費	40,347	45,321	△ 4,974

科 目	当年度	前年度	増 減
印 刷 製 本 費	990	9,328	△ 8,338
光 熱 水 料 費	149,951	158,747	△ 8,796
賃 借 料	2,709,725	3,012,564	△ 302,839
保 險 料	19,113	22,090	△ 2,977
租 税 公 課	67,362	230,189	△ 162,827
委 託 費	10,997,013	12,731,932	△ 1,734,919
支 払 利 息	10,294	35,215	△ 24,921
諸 手 数 料	56,584	60,386	△ 3,802
雑 費	35,242	37,495	△ 2,253
経 常 費 用 計	1,141,456,097	1,146,705,798	△ 5,249,701
当 期 経 常 増 減 額	33,367,102	22,553,499	10,813,603
2. 経常外増減の部			
(1) 経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	33,367,102	22,553,499	10,813,603
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	206,659,001	184,105,502	22,553,499
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	240,026,103	206,659,001	33,367,102
II 指定正味財産増減の部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	240,026,103	206,659,001	33,367,102

正味財産増減計算書内訳表  
2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計(管理費)	合 計
	公 1	公 2	共通	小計		
	映画祭事業	国際事業				
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取会費	0	0	35,000,000	35,000,000	35,000,000	70,000,000
事業収益	438,310,696	277,609,609	0	715,920,305	0	715,920,305
受取補助金等	325,995,928	3,300,000	0	329,295,928	0	329,295,928
受取寄付金	38,500,000	20,000,000	0	58,500,000	0	58,500,000
雑収益	10	0	0	10	1,106,956	1,106,966
経常収益計	802,806,634	300,909,609	35,000,000	1,138,716,243	36,106,956	1,174,823,199
(2) 経常費用						
事業費	824,705,904	293,512,966	0	1,118,218,870		1,118,218,870
役員報酬	12,000,000	1,500,000	0	13,500,000		13,500,000
給与手当	16,059,660	20,019,960	0	36,079,620		36,079,620
退職給付費用	414,430	0	0	414,430		414,430
法定福利費	3,038,073	3,256,160	0	6,294,233		6,294,233
福利厚生費	283,397	134,951	0	418,348		418,348
会議費	11,923,241	48,749	0	11,971,990		11,971,990
渉外費	147,499	0	0	147,499		147,499
旅費交通費	28,720,410	611,035	0	29,331,445		29,331,445
通信運搬費	5,464,438	2,158,304	0	7,622,742		7,622,742
減価償却費	4,050,887	646,584	0	4,697,471		4,697,471
消耗什器備品費	41,576	19,798	0	61,374		61,374
消耗品費	2,835,363	195,618	0	3,030,981		3,030,981
図書新聞費	448,147	192,510	0	640,657		640,657
印刷製本費	18,962,417	54,730	0	19,017,147		19,017,147
光熱水料費	1,349,562	642,649	0	1,992,211		1,992,211
賃借料	98,590,392	14,539,751	0	113,130,143		113,130,143
保険料	845,125	146,992	0	992,117		992,117
謝金	2,199,617	2,512,607	0	4,712,224		4,712,224
租税公課	943,001	288,696	0	1,231,697		1,231,697
委託費	603,303,908	230,275,589	0	833,579,497		833,579,497
支援金	0	12,003,832	0	12,003,832		12,003,832
賞金	8,085,230	0	0	8,085,230		8,085,230
支払利息	92,649	44,118	0	136,767		136,767
諸手数料	3,782,580	366,495	0	4,149,075		4,149,075
雑費	1,124,302	3,853,838	0	4,978,140		4,978,140
管理費					23,237,227	23,237,227
給与手当					7,195,980	7,195,980
法定福利費					1,179,258	1,179,258
福利厚生費					116,488	116,488
旅費交通費					220,690	220,690
通信運搬費					163,364	163,364
減価償却費					150,870	150,870
消耗什器備品費					4,620	4,620
消耗品費					119,336	119,336
図書新聞費					40,347	40,347
印刷製本費					990	990
光熱水料費					149,951	149,951
賃借料					2,709,725	2,709,725
保険料					19,113	19,113
租税公課					67,362	67,362
委託費					10,997,013	10,997,013
支払利息					10,294	10,294
諸手数料					56,584	56,584
雑費					35,242	35,242
経常費用計	824,705,904	293,512,966	0	1,118,218,870	23,237,227	1,141,456,097
当期経常増減額	△ 21,899,270	7,396,643	35,000,000	20,497,373	12,869,729	33,367,102
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 21,899,270	7,396,643	35,000,000	20,497,373	12,869,729	33,367,102
一般正味財産期首残高	△ 51,240,451	24,362,319	109,750,000	82,871,868	123,787,133	206,659,001
一般正味財産期末残高	△ 73,139,721	31,758,962	144,750,000	103,369,241	136,656,862	240,026,103
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 73,139,721	31,758,962	144,750,000	103,369,241	136,656,862	240,026,103

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 什器備品

2007年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、2007年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。

##### ② ソフトウェア

・自社利用目的のソフトウェア

社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっている。

##### ③ リース資産

・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

#### (2) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

#### (3) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	5,188,287	414,430	0	5,602,717
映画祭事業積立資産	95,000,000	0	95,000,000	0
合 計	100,188,287	414,430	95,000,000	5,602,717

#### (映画祭事業積立資産の廃止)

映画祭事業積立資産管理規程第8条に基づき、2022年3月15日の理事会の決議により映画祭事業積立資産の廃止が承認されました。

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
退職給付引当資産	5,602,717	(0)	(0)	(5,602,717)
合 計	5,602,717	(0)	(0)	(5,602,717)



4. 担保に供している資産  
該当ありません。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高  
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。  
(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	19,415,313	9,914,596	9,500,717
ソフトウェア	14,526,800	9,101,690	5,425,110
リース資産	4,682,926	2,211,380	2,471,546
合 計	38,625,039	21,227,666	17,397,373

6. 保証債務等の偶発債務  
該当ありません。

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
<b>補助金</b>						
・コンテンツ海外展開促進補助金	経済産業省	0	13,810,000	13,810,000	0	-
・文化芸術振興費補助金	文化庁	0	70,000,000	70,000,000	0	-
<b>分担金</b>						
・東京国際映画祭 コンペティション部門共催	東京都	0	140,000,000	140,000,000	0	-
・アジア映画交流事業共催 他	国際交流基金	0	105,485,928	105,485,928	0	-
合 計		0	329,295,928	329,295,928	0	

8. 関連当事者との取引の内容  
該当ありません。

## 9. 退職給付関係

### (1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

### (2) 退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

①退職給付債務	5,602,717
②退職給付引当金	5,602,717

### (3) 退職給付費用に関する事項

(単位:円)

①勤務費用	414,430
②退職給付費用	414,430

### (4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

## 10. リース取引関係

所有権移転ファイナンス・リース取引

### (1) リース資産の内容

主として、電話設備(什器備品)である。

### (2) リース資産の減価償却の方法

1.重要な会計方針に記載しているため、内容の記載を省略している。

## 11. 資産除去債務関係

当法人は、本部事務所の不動産賃借契約に基づき、事務所の退去時における原状回復に係る債務を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来本部を移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積ることができない。

そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

## 12. 重要な後発事象

該当ありません。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため内容の記載を省略している。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	5,188,287	414,430	0	0	5,602,717

財産目録

2022年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額			
(流動資産)	現金預金	手元保管 普通預金 三菱UFJ銀行京橋支店(本口) 三井住友銀行銀座支店 みずほ銀行京橋支店(本口) みずほ銀行京橋支店(TIFFCOM口) りそな銀行東京営業部	運転資金として	40,872,669			
				196,411			
				23,429,636			
				22,874			
				15,610,038			
				187,000			
				199,121			
				1,192,057			
				35,532			
				183,558,961			
	未収金	経済産業省、文化庁、 独立行政法人国際交流基金 他	公益目的事業において計上した収益にかかる債権	183,558,961			
前払金	松竹㈱	事務所賃借料にかかる前払金	2,393,776				
立替金	NECパーソナルコンピュータ㈱	公益目的事業にかかるリース物件立替金	1,734,130				
<b>流動資産合計</b>				<b>228,559,536</b>			
(固定資産)	特定資産	退職給付引当資産	三井住友銀行銀座支店	公益目的事業のうち映画祭事業に従事する職員に対する退職金の支払いに備えたもの	5,602,717		
その他固定資産	什器備品	事務机、キャビネット等	公益目的事業及び法人の管理運営目的として従業員等の業務に使用	9,500,717			
				電話加入権	NTT東日本	公益目的事業及び法人の管理にかかる運費用途	180,200
				ソフトウェア	映画祭公式サイト WEBシステム開発	公益目的事業のうち映画祭事業目的に使用	5,425,110
				リース資産	電話設備	公益目的事業及び法人の管理にかかる運費用途	2,471,546
				敷金	松竹㈱	事務所賃借にかかる敷金	17,953,320
				保証金	損保ジャパン日本興亜	公益目的事業の海外出張時加入傷害保険保証金	10,000
<b>固定資産合計</b>				<b>41,143,610</b>			
<b>資産合計</b>				<b>269,703,146</b>			
(流動負債)	未払金	ジェムパートナーズ㈱ 他 社会保険料、税金他	公益目的事業において計上した費用にかかる債務	18,365,447			
	預り金	所得税 他	源泉所得税等預り金	2,223,348			
	リース債務	電話設備	公益目的事業及び法人の管理にかかる運費用途	782,013			
<b>流動負債合計</b>				<b>21,370,808</b>			
(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	公益目的事業のうち映画祭事業に従事する職員に対する退職金の支払いに備えたもの	5,602,717			
	長期未払金	リース契約解約金	コピー機リース契約解約による返済金	920,376			
	リース債務	電話設備	公益目的事業及び法人の管理にかかる運費用途	1,783,142			
<b>固定負債合計</b>				<b>8,306,235</b>			
<b>負債合計</b>				<b>29,677,043</b>			
<b>正味財産</b>				<b>240,026,103</b>			

## 独立監査人の監査報告書

2022年5月31日

公益財団法人ユニジャパン  
代表理事 迫本 淳一 殿

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

高木 修

### <財務諸表等監査>

#### 監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人ユニジャパンの2021年4月1日から2022年3月31日までの2021事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財

務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### <財産目録に対する意見>

##### 財産目録に対する監査意見

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人ユニジャパンの2022年3月31日現在の2021事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の

基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

#### 財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

#### 利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上



# 監査報告書

2022年5月27日

公益財団法人 ユニジャパン

代表理事・理事長 迫本 淳一 殿

公益財団法人 ユニジャパン

監事 唐澤 洋   
監事 佐々木 伸一 

私たちは、公益財団法人ユニジャパン定款第31条及び関連法令に基づき、2021年4月1日から2022年3月31日までの会計年度における会計監査及び業務監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表並びに収支計算書の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。

## 2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 事業報告の内容は真実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上